

福祉的就労施設で働く障害者を応援

福祉的就労施設 「就労継続支援事業所」とは？

一般企業や自治体などでの就労が困難な障害者が、福祉サービスを受けながら生産活動に従事する福祉的就労施設を「就労継続支援A型・B型事業所」といい、県内で約6800人（A型約千人、B型約5800人）の方々が働いています（令和4年3月末）。

※「就労継続支援A型事業所」
雇用契約を結び利用する福祉サービス
「就労継続支援B型事業所」
雇用契約を結ばず利用する福祉サービス（最低賃金額などの定めがない）

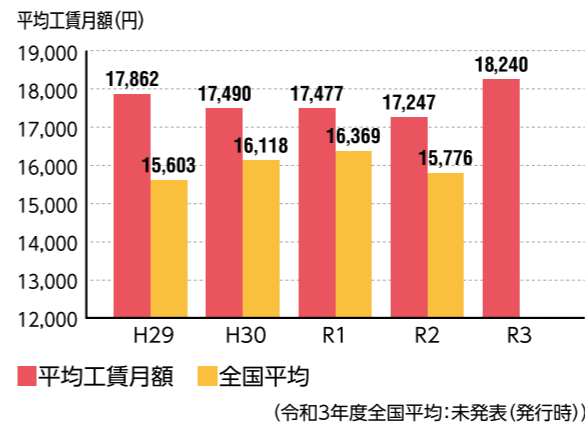
こうした事業所の業種は、パンやお菓子などの食品製造、雑貨小物製造、清掃、データ入力などの情報処理、軽作業の請負、農業などさまざまです。



工賃の現状

この事業所で働く障害者には、作業の対価として工賃（給料）が支払われます。県内B型事業所の実績の平均（令和3年度）は、月額約1万8千円（左グラフ）ですが、障害基礎年金（2級）6万5千円を加えても、県内の最低生活費10万6千円には達しません。障害者が地域で経済的に自立した生活を送るためには、この工賃水準の引き上げが必要であり、県は平均月額4万円にすることを目標に、さまざまな支援に取り組んでいます。

県内就労継続支援B型事業所の工賃推移



国会図書館の本をデジタル化しています



事前に汚れや落丁などがなく1ページ1ページ 暗室で全ページをスキャナーで撮影します
目視で確認し、記録します
撮影した画像に汚れ・ほこり・ズレなどがなく確認します

昨年、図書館蔵書をはじめとした紙媒体をデジタル化する業務拠点を県内の就労継続支援事業所2カ所に整備しました。国会図書館と宮城県図書館の蔵書のデジタル化作業を行っており、年間約8千冊もの図書を扱っています。地道な作業ですが、従事している方々は根気強く丁寧に取り組んでいます。紙媒体のデジタル化は今後も需要が見込まれ、受注拡大と工賃向上を目指しています。

就労希望の障害者対象 デジタル化作業に携わるメンバーを募集中

萩の郷福祉工場
(社福)共生福祉会
就労継続支援A型／定員27人・B型／定員13人
仙台市太白区鉤取御堂平38
☎022(244)0115



第二啓生園
(社福)宮城県障がい者福祉協会
就労継続支援B型／定員40人
仙台市宮城野区幸町4-6-2
☎022(385)7861



お買い物で、優しく障害者を応援！

販売会やイベント出店の支援

働く障害者ふれあいフェスティバル

県内の就労継続支援事業所で働く障害者が心を込めて作った製品を自ら販売する大好評の催しです。おいしいお菓子、新鮮な野菜、かわいい手工艺品などたくさんの製品をご用意しています。開催時には県のホームページなどでも情報発信していますので、ぜひお越しください。
宮城県庁行政庁舎1階 県民ロビー
例年9月と12月に開催



商品詰め合わせ

オリジナル商品もあります
(ふるさと納税返礼品取り扱い中)



第16回ナイスハートバザールinせんだい➕ノウフクマルシェ



JR仙台駅で、年に1度の県内最大規模の就労継続支援事業所の商品販売会を開催します。ご購入いただいた商品の売り上げは働く障害者の工賃として支払われます。ぜひお越しください。

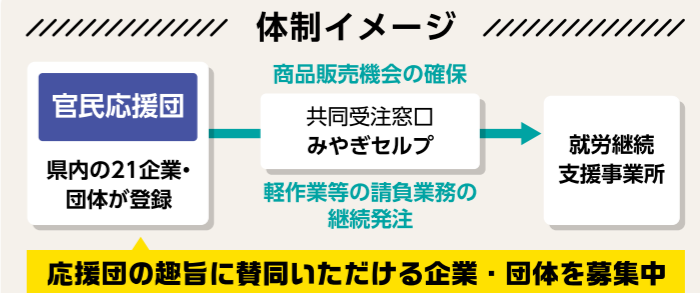
3月1日(水)、2日(木)
午前10時～午後8時

JR仙台駅2階
スタンドグラス前催事会場

障害福祉課 ☎022(211)2541

「みやぎの福祉的就労施設で働く障害者官民応援団」を結成

工賃向上のためには、請負業務の安定的な受注機会や商品販売機会の確保が必要です。そこで、昨年6月に「みやぎの福祉的就労施設で働く障害者のための官民応援団」を結成し、共同受注窓口である「みやぎセルフ」が事務局となり、県内の企業・団体などのつながりを強化し、地域に根差した受注体制の構築に取り組んでいます。



今年度の主な取り組み

東北大学

115周年記念プレミアムビールのラベルデザインコラボ
障害者アートがラベルデザインに採用されました。

デザインを担当した竹内聖太郎さん

式典記念品「水引しおり」
記念品として就労継続支援事業所で製作した「水引しおり」が配布されました。

仙台村田製作所

構内の除草作業
構内の除草作業を継続的に行っています。就労継続支援事業所は施設外での作業も請け負うことができます。